

台風・高潮の災害に備えよう!

7月28日、台風12号が関東に接近し、相模湾西部で高波や高潮の被害が発生しました。

神奈川県小田原市では、江之浦や米神付近を通る国道135号線で救急車やパトカー、乗用車など15台の車が高波による道路冠水により立ち往生し、高波を受けて大破する等の被害を受けました。

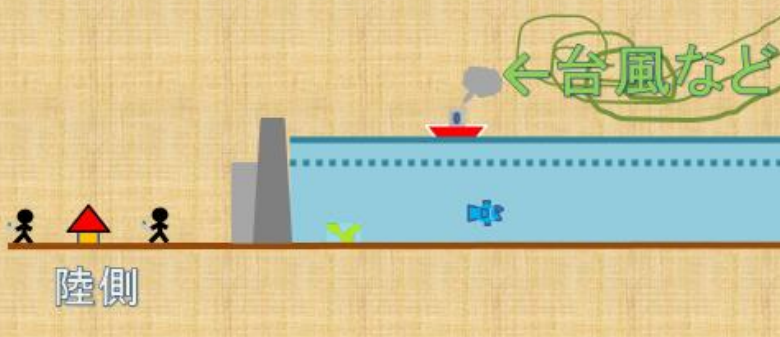
今回の台風は東から西へと逆走する異例の進路を進み、満潮や大潮が重なったため被害が大きくなったとされています。

私たち一人ひとりが高潮を含め台風が引き起こす現象の脅威を認識し、命を守るための備えをつくり出すことが重要です。

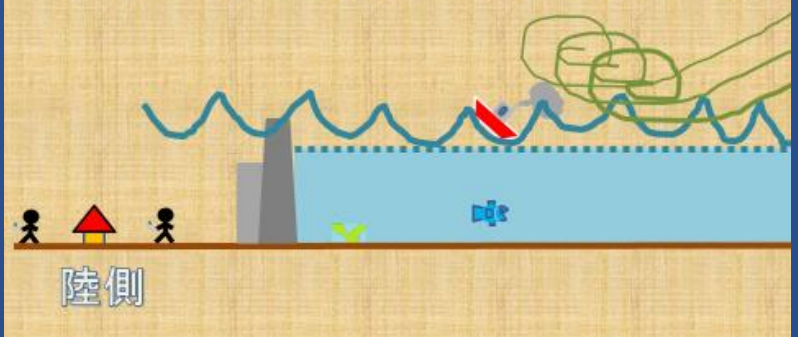
防災士が
解説します

高潮のメカニズム

①台風などが原因で海面が上昇、
なお海底の地形は変化しない



②上昇した海面が
吹き寄せ効果で護岸を超える



高潮の発生原因は台風や熱帯低気圧が挙げられます。
台風を中心付近は気圧が低く、1hPa下がると海面が1cm上昇する「吸い上げ効果」が起こります。
台風の東側では南風が強く、海水を陸地側に運ぶ「吹き寄せ効果」が重なって、海面の水位が護岸より高くなることなどにより高潮が発生します。



台風接近時、海の近くは大変危険です!安全な場所に避難しましょう!